

2018年度詳細環境調査分析機関報告データ

底質

調査対象物質	地方 公共団体	地点 番号	調査地点	測定値			報告時 検出下限値
				検体1	検体2	検体3	
[6-3] 塩素化ヘキサデカン類（塩素数が4から9までのもの。）	北海道	1	石狩川河口石狩河口橋（石狩市）	nd	nd	nd	※※6.6
		2	苫小牧港	11	10	41	※※6.4
詳細環境調査・底質(単位：ng/g-dry)	秋田県	3	秋田運河（秋田市）	※7.4	10	20	※※6.6
地点ベース検出頻度：15/23(欠測等：0)	山形県	4	最上川河口（酒田市）	nd	nd	nd	※※5.1
検体ベース検出頻度：40/67(欠測等：0)	茨城県	5	利根川河口かもめ大橋（神栖市）	nd	nd	nd	※※6.0
検出範囲：nd～750	東京都	6	荒川河口（江東区）	31	29	39	※※6.4
検出下限値範囲：※※4.1～※※10		7	隅田川河口（港区）	88	69	59	※※8.3
検出下限値：※※7.8	横浜市	8	横浜港	57	45	66	※※10
要求検出下限値：47	川崎市	9	多摩川河口（川崎市）	9.0	44	30	※※6.1
		10	川崎港京浜運河扇町地先 注	120	53	44	※※10
	新潟県	11	信濃川下流（新潟市）	16	nd	nd	※※5.7
	石川県	12	犀川河口（金沢市）	※6.7	※6.7	nd	※※4.6
	名古屋市	13	堀川港新橋（名古屋市）	750	720	420	※※7.2
	大阪府	14	大和川河口（堺市）	37	210	43	※※6.7
	大阪市	15	大川毛馬橋（大阪市）	130	70	34	※※6.7
		16	大阪港	51	120	51	※※8.9
	兵庫県	17	高砂西港港口先	nd	nd	nd	※※7.8
	和歌山県	18	紀の川河口紀の川大橋（和歌山市）	31	nd	nd	※※4.1
	岡山県	19	水島沖	nd	nd	nd	※※5.3
	山口県	20	徳山湾	13	11	9.9	※※8.3
	香川県	21	坂出港※※※	nd	---	---	※※4.3
	北九州市	22	洞海湾	19	46	63	※※7.1
	大分県	23	大分川河口（大分市）	nd	nd	nd	※※4.2

(注1) 「検出頻度（地点ベース）」とは検出地点数/調査地点数（欠測等は除く）を、
「検出頻度（検体ベース）」とは検出検体数/調査検体数（欠測等は除く）をそれぞれ意味する。

(注2) --- : 欠測等

(注3) 「欠測等」とは、測定値が得られなかった検体又は検出下限値を統一したことによりここでの集計の対象から除外された検体

(注4) nd : 不検出

(注5) ※ : 参考値（調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満ではあるが、各地点ごとの調査精度に依存する「報告時検出下限値」
以上として定量的に検出された値であるため、参考として記載した。統計処理には数値としては用いていない）

(注6) ※※ : 塩素数別の検出下限値の合計値である。

(注7) 塩素数が4から9までのものの合計値を算出する際にはndを0として算出している。

(注8) ※※※ : 1地点ごとに3検体の測定を行うこととしているが、坂出港は1検体のみの測定であった。

2018年度詳細環境調査分析機関報告データ

底質

調査対象物質	地方 公共団体	地点 番号	調査地点	測定値			報告時 検出下限値
				検体1	検体2	検体3	
[6-3-1] テトラクロロヘキサデカン類 詳細環境調査・底質(単位 : ng/g-dry) 地点ベース検出頻度 : 16/23(欠測等 : 0) 検体ベース検出頻度 : 42/67(欠測等 : 0) 検出範囲 : nd~170 検出下限値範囲 : 0.70~1.8 検出下限値 : 1.3 要求検出下限値 : 47	北海道	1	石狩川河口石狩河口橋 (石狩市)	nd	nd	nd	1.1
		2	苫小牧港	1.6	1.6	3.9	1.1
	秋田県	3	秋田運河 (秋田市)	1.3	1.3	2.8	1.1
	山形県	4	最上川河口 (酒田市)	nd	nd	nd	0.87
	茨城県	5	利根川河口かもめ大橋 (神栖市)	nd	nd	nd	1.0
	東京都	6	荒川河口 (江東区)	4.2	4.2	4.8	1.1
		7	隅田川河口 (港区)	12	9.6	7.9	1.4
	横浜市	8	横浜港	6.4	5.8	7.6	1.7
	川崎市	9	多摩川河口 (川崎市)	※1.2	6.8	4.2	1.0
		10	川崎港京浜運河扇町地先 注	15	7.2	5.2	1.8
	新潟県	11	信濃川下流 (新潟市)	1.7	nd	nd	0.97
	石川県	12	犀川河口 (金沢市)	1.4	1.5	※0.94	0.78
	名古屋市	13	堀川港新橋 (名古屋市)	170	90	53	1.2
	大阪府	14	大和川河口 (堺市)	3.2	15	3.3	1.1
	大阪市	15	大川毛馬橋 (大阪市)	12	9.9	5.3	1.1
		16	大阪港	6.1	16	5.2	1.5
	兵庫県	17	高砂西港港口先	nd	nd	nd	1.3
	和歌山県	18	紀の川河口紀の川大橋 (和歌山市)	3.5	nd	nd	0.70
	岡山県	19	水島沖	nd	nd	nd	0.89
	山口県	20	徳山湾	1.9	1.6	1.7	1.4
	香川県	21	坂出港※※※	※1.0	---	---	0.73
	北九州市	22	洞海湾	3.0	6.3	9.7	1.2
	大分県	23	大分川河口 (大分市)	nd	nd	nd	0.71

(注1) 「検出頻度（地点ベース）」とは検出地点数/調査地点数（欠測等は除く）を、
「検出頻度（検体ベース）」とは検出検体数/調査検体数（欠測等は除く）をそれぞれ意味する。

(注2) --- : 欠測等

(注3) 「欠測等」とは、測定値が得られなかった検体又は検出下限値を統一したことによりここでの集計の対象から除外された検体

(注4) nd : 不検出

(注5) ※ : 参考値（調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満ではあるが、各地点ごとの調査精度に依存する「報告時検出下限値」
以上として定量的に検出された値であるため、参考として記載した。統計処理には数値としては用いていない)

(注6) ※※※ : 1地点ごとに3検体の測定を行うこととしているが、坂出港は1検体のみの測定であった。

2018年度詳細環境調査分析機関報告データ

底質

調査対象物質	地方 公共団体	地点 番号	調査地点	測定値			報告時 検出下限値
				検体1	検体2	検体3	
[6-3-2] ペンタクロロヘキサデカン類 詳細環境調査・底質(単位 : ng/g-dry) 地点ベース検出頻度 : 15/23(欠測等 : 0) 検体ベース検出頻度 : 35/67(欠測等 : 0) 検出範囲 : nd~170 検出下限値範囲 : 0.98~2.5 検出下限値 : 2.0 要求検出下限値 : 47	北海道	1	石狩川河口石狩河口橋 (石狩市)	nd	nd	nd	1.6
		2	苫小牧港	※1.9	2.0	6.7	1.5
	秋田県	3	秋田運河 (秋田市)	nd	※1.9	3.7	1.6
	山形県	4	最上川河口 (酒田市)	nd	nd	nd	1.2
	茨城県	5	利根川河口かもめ大橋 (神栖市)	nd	nd	nd	1.4
	東京都	6	荒川河口 (江東区)	5.2	5.2	7.3	1.5
		7	隅田川河口 (港区)	17	13	11	2.0
	横浜市	8	横浜港	10	8.1	11	2.4
	川崎市	9	多摩川河口 (川崎市)	nd	8.5	5.6	1.5
		10	川崎港京浜運河扇町地先 注	25	9.7	8.8	2.5
	新潟県	11	信濃川下流 (新潟市)	2.7	nd	nd	1.4
	石川県	12	犀川河口 (金沢市)	※1.2	※1.7	nd	1.1
	名古屋市	13	堀川港新橋 (名古屋市)	170	160	69	1.7
	大阪府	14	大和川河口 (堺市)	6.0	28	5.4	1.6
	大阪市	15	大川毛馬橋 (大阪市)	20	13	6.8	1.6
		16	大阪港	8.8	21	7.9	2.1
	兵庫県	17	高砂西港港口先	nd	nd	nd	1.9
	和歌山県	18	紀の川河口紀の川大橋 (和歌山市)	8.8	nd	nd	0.98
	岡山県	19	水島沖	nd	nd	nd	1.3
	山口県	20	徳山湾	2.1	nd	nd	2.0
	香川県	21	坂出港※※※	nd	---	---	1.0
	北九州市	22	洞海湾	3.6	8.9	13	1.7
	大分県	23	大分川河口 (大分市)	nd	nd	nd	1.0

(注1) 「検出頻度（地点ベース）」とは検出地点数/調査地点数（欠測等は除く）を、
「検出頻度（検体ベース）」とは検出検体数/調査検体数（欠測等は除く）をそれぞれ意味する。

(注2) --- : 欠測等

(注3) 「欠測等」とは、測定値が得られなかった検体又は検出下限値を統一したことによりここでの集計の対象から除外された検体

(注4) nd : 不検出

(注5) ※ : 参考値（調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満ではあるが、各地点ごとの調査精度に依存する「報告時検出下限値」
以上として定量的に検出された値であるため、参考として記載した。統計処理には数値としては用いていない）

(注6) ※※※ : 1地点ごとに3検体の測定を行うこととしているが、坂出港は1検体のみの測定であった。

2018年度詳細環境調査分析機関報告データ

底質

調査対象物質	地方 公共団体	地点 番号	調査地点	測定値			報告時 検出下限値
				検体1	検体2	検体3	
[6-3-3] ヘキサクロロヘキサデカン類 詳細環境調査・底質(単位 : ng/g-dry) 地点ベース検出頻度 : 18/23(欠測等 : 0) 検体ベース検出頻度 : 48/67(欠測等 : 0) 検出範囲 : nd~220 検出下限値範囲 : 0.61~1.6 検出下限値 : 0.99 要求検出下限値 : 47	北海道	1	石狩川河口石狩河口橋 (石狩市)	nd	nd	nd	0.99
		2	苫小牧港	2.7	2.4	11	0.95
	秋田県	3	秋田運河 (秋田市)	1.4	2.3	4.7	0.98
	山形県	4	最上川河口 (酒田市)	nd	nd	nd	0.76
	茨城県	5	利根川河口かもめ大橋 (神栖市)	nd	nd	nd	0.89
	東京都	6	荒川河口 (江東区)	7.4	6.7	9.8	0.95
		7	隅田川河口 (港区)	22	16	14	1.2
	横浜市	8	横浜港	15	12	18	1.5
	川崎市	9	多摩川河口 (川崎市)	2.2	9.9	6.9	0.91
		10	川崎港京浜運河扇町地先 注	36	13	12	1.6
	新潟県	11	信濃川下流 (新潟市)	3.7	nd	nd	0.85
	石川県	12	犀川河口 (金沢市)	1.4	1.3	nd	0.69
	名古屋市	13	堀川港新橋 (名古屋市)	180	220	120	1.1
	大阪府	14	大和川河口 (堺市)	11	58	11	1.0
	大阪市	15	大川毛馬橋 (大阪市)	37	18	8.5	1.0
		16	大阪港	13	31	14	1.3
	兵庫県	17	高砂西港港口先	1.7	1.6	1.2	1.2
	和歌山県	18	紀の川河口紀の川大橋 (和歌山市)	11	※0.92	nd	0.61
	岡山県	19	水島沖	1.3	1.1	※0.82	0.78
	山口県	20	徳山湾	3.2	2.4	2.4	1.2
	香川県	21	坂出港※※※	nd	---	---	0.64
	北九州市	22	洞海湾	5.5	12	16	1.1
	大分県	23	大分川河口 (大分市)	nd	nd	nd	0.62

(注1) 「検出頻度（地点ベース）」とは検出地点数/調査地点数（欠測等は除く）を、
「検出頻度（検体ベース）」とは検出検体数/調査検体数（欠測等は除く）をそれぞれ意味する。

(注2) --- : 欠測等

(注3) 「欠測等」とは、測定値が得られなかった検体又は検出下限値を統一したことによりここでの集計の対象から除外された検体

(注4) nd : 不検出

(注5) ※ : 参考値（調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満ではあるが、各地点ごとの調査精度に依存する「報告時検出下限値」
以上として定量的に検出された値であるため、参考として記載した。統計処理には数値としては用いていない)

(注6) ※※※ : 1地点ごとに3検体の測定を行うこととしているが、坂出港は1検体のみの測定であった。

2018年度詳細環境調査分析機関報告データ

底質

調査対象物質	地方 公共団体	地点 番号	調査地点	測定値			報告時 検出下限値
				検体1	検体2	検体3	
[6-3-4] ヘプタクロロヘキサデカン類 詳細環境調査・底質(単位 : ng/g-dry) 地点ベース検出頻度 : 17/23(欠測等 : 0) 検体ベース検出頻度 : 44/67(欠測等 : 0) 検出範囲 : nd~170 検出下限値範囲 : 0.66~1.7 検出下限値 : 1.3 要求検出下限値 : 47	北海道	1	石狩川河口石狩河口橋 (石狩市)	nd	nd	nd	1.1
		2	苫小牧港	2.6	2.2	11	1.0
	秋田県	3	秋田運河 (秋田市)	1.7	2.4	5.0	1.1
	山形県	4	最上川河口 (酒田市)	nd	nd	nd	0.82
	茨城県	5	利根川河口かもめ大橋 (神栖市)	nd	nd	nd	0.96
	東京都	6	荒川河口 (江東区)	7.4	7.2	9.6	1.0
		7	隅田川河口 (港区)	21	17	15	1.3
	横浜市	8	横浜港	15	12	17	1.6
	川崎市	9	多摩川河口 (川崎市)	2.4	9.8	7.1	0.98
		10	川崎港京浜運河扇町地先 注	30	13	11	1.7
	新潟県	11	信濃川下流 (新潟市)	4.1	nd	nd	0.91
	石川県	12	犀川河口 (金沢市)	1.4	※1.1	nd	0.74
	名古屋市	13	堀川港新橋 (名古屋市)	150	170	120	1.2
	大阪府	14	大和川河口 (堺市)	9.6	63	13	1.1
	大阪市	15	大川毛馬橋 (大阪市)	36	17	7.7	1.1
		16	大阪港	13	29	14	1.4
	兵庫県	17	高砂西港港口先	1.4	1.4	nd	1.3
	和歌山県	18	紀の川河口紀の川大橋 (和歌山市)	5.7	※0.95	nd	0.66
	岡山県	19	水島沖	※0.98	※0.92	nd	0.85
	山口県	20	徳山湾	3.5	2.8	2.4	1.3
	香川県	21	坂出港※※※	nd	---	---	0.69
	北九州市	22	洞海湾	4.7	11	15	1.1
	大分県	23	大分川河口 (大分市)	nd	nd	nd	0.67

(注1) 「検出頻度（地点ベース）」とは検出地点数/調査地点数（欠測等は除く）を、
「検出頻度（検体ベース）」とは検出検体数/調査検体数（欠測等は除く）をそれぞれ意味する。

(注2) --- : 欠測等

(注3) 「欠測等」とは、測定値が得られなかった検体又は検出下限値を統一したことによりここでの集計の対象から除外された検体

(注4) nd : 不検出

(注5) ※ : 参考値（調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満ではあるが、各地点ごとの調査精度に依存する「報告時検出下限値」
以上として定量的に検出された値であるため、参考として記載した。統計処理には数値としては用いていない)

(注6) ※※※ : 1地点ごとに3検体の測定を行うこととしているが、坂出港は1検体のみの測定であった。

2018年度詳細環境調査分析機関報告データ

底質

調査対象物質	地方 公共団体	地点 番号	調査地点	測定値			報告時 検出下限値
				検体1	検体2	検体3	
[6-3-5] オクタクロロヘキサデカン類 詳細環境調査・底質(単位 : ng/g-dry) 地点ベース検出頻度 : 15/23(欠測等 : 0) 検体ベース検出頻度 : 41/67(欠測等 : 0) 検出範囲 : nd~67 検出下限値範囲 : 0.66~1.7 検出下限値 : 1.2 要求検出下限値 : 47	北海道	1	石狩川河口石狩河口橋 (石狩市)	nd	nd	nd	1.1
		2	苫小牧港	1.4	1.3	6.5	1.0
	秋田県	3	秋田運河 (秋田市)	1.2	1.6	3.0	1.0
	山形県	4	最上川河口 (酒田市)	nd	nd	nd	0.82
	茨城県	5	利根川河口かもめ大橋 (神栖市)	nd	nd	nd	0.95
	東京都	6	荒川河口 (江東区)	4.7	4.7	5.6	1.0
		7	隅田川河口 (港区)	12	10	8.5	1.3
	横浜市	8	横浜港	8.3	6.4	9.5	1.6
	川崎市	9	多摩川河口 (川崎市)	1.4	6.5	4.6	0.98
		10	川崎港京浜運河扇町地先 注	15	8.4	6.3	1.7
	新潟県	11	信濃川下流 (新潟市)	3.0	nd	nd	0.91
	石川県	12	犀川河口 (金沢市)	※0.87	※0.77	nd	0.74
	名古屋市	13	堀川港新橋 (名古屋市)	67	64	53	1.2
	大阪府	14	大和川河口 (堺市)	5.5	34	8.1	1.1
		15	大川毛馬橋 (大阪市)	17	9.6	4.1	1.1
	大阪市	16	大阪港	7.6	15	7.7	1.4
		17	高砂西港港口先	nd	nd	nd	1.2
	兵庫県	18	紀の川河口紀の川大橋 (和歌山市)	2.1	nd	nd	0.66
	和歌山県	19	水島沖	nd	nd	nd	0.84
	岡山県	20	徳山湾	1.8	1.5	1.3	1.3
	山口県	21	坂出港※※※	nd	---	---	0.69
	香川県	22	洞海湾	2.1	6.1	8.4	1.1
	北九州市	23	大分川河口 (大分市)	nd	nd	nd	0.67

(注1) 「検出頻度（地点ベース）」とは検出地点数/調査地点数（欠測等は除く）を、
「検出頻度（検体ベース）」とは検出検体数/調査検体数（欠測等は除く）をそれぞれ意味する。

(注2) --- : 欠測等

(注3) 「欠測等」とは、測定値が得られなかった検体又は検出下限値を統一したことによりここでの集計の対象から除外された検体

(注4) nd : 不検出

(注5) ※ : 参考値（調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満ではあるが、各地点ごとの調査精度に依存する「報告時検出下限値」
以上として定量的に検出された値であるため、参考として記載した。統計処理には数値としては用いていない)

(注6) ※※※ : 1地点ごとに3検体の測定を行うこととしているが、坂出港は1検体のみの測定であった。

2018年度詳細環境調査分析機関報告データ

底質

調査対象物質	地方 公共団体	地点 番号	調査地点	測定値			報告時 検出下限値
				検体1	検体2	検体3	
[6-3-6] ノナクロロヘキサデカン類	北海道	1	石狩川河口石狩河口橋（石狩市）	nd	nd	nd	0.81
詳細環境調査・底質(単位 : ng/g-dry)		2	苫小牧港	nd	nd	1.8	0.78
地点ベース検出頻度 : 12/23(欠測等 : 0)	秋田県	3	秋田運河（秋田市）	nd	nd	※0.98	0.80
検体ベース検出頻度 : 30/67(欠測等 : 0)	山形県	4	最上川河口（酒田市）	nd	nd	nd	0.63
検出範囲 : nd~16	茨城県	5	利根川河口かもめ大橋（神栖市）	nd	nd	nd	0.73
検出下限値範囲 : 0.50~1.3	東京都	6	荒川河口（江東区）	1.7	1.4	1.8	0.78
検出下限値 : 1.0		7	隅田川河口（港区）	4.1	3.5	3.0	1.0
要求検出下限値 : 47	横浜市	8	横浜港	2.1	1.7	2.6	1.2
	川崎市	9	多摩川河口（川崎市）	nd	2.3	1.4	0.75
		10	川崎港京浜運河扇町地先 注	3.2	2.5	1.4	1.3
	新潟県	11	信濃川下流（新潟市）	1.2	nd	nd	0.70
	石川県	12	犀川河口（金沢市）	nd	nd	nd	0.56
	名古屋市	13	堀川港新橋（名古屋市）	16	13	12	0.88
	大阪府	14	大和川河口（堺市）	1.6	9.1	2.1	0.82
	大阪市	15	大川毛馬橋（大阪市）	4.0	2.3	1.3	0.83
		16	大阪港	2.1	3.7	2.2	1.1
	兵庫県	17	高砂西港港口先	nd	nd	nd	0.95
	和歌山県	18	紀の川河口紀の川大橋（和歌山市）	nd	nd	nd	0.50
	岡山県	19	水島沖	nd	nd	nd	0.64
	山口県	20	徳山湾	nd	nd	nd	1.0
	香川県	21	坂出港※※※	nd	---	---	0.53
	北九州市	22	洞海湾	nd	1.5	2.3	0.87
	大分県	23	大分川河口（大分市）	nd	nd	nd	0.51

(注1) 「検出頻度（地点ベース）」とは検出地点数/調査地点数（欠測等は除く）を、
「検出頻度（検体ベース）」とは検出検体数/調査検体数（欠測等は除く）をそれぞれ意味する。

(注2) --- : 欠測等

(注3) 「欠測等」とは、測定値が得られなかった検体又は検出下限値を統一したことによりここでの集計の対象から除外された検体

(注4) nd : 不検出

(注5) ※ : 参考値（調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満ではあるが、各地点ごとの調査精度に依存する「報告時検出下限値」
以上として定量的に検出された値であるため、参考として記載した。統計処理には数値としては用いていない）

(注6) ※※※ : 1地点ごとに3検体の測定を行うこととしているが、坂出港は1検体のみの測定であった。